



インスピレーションになるう

- 《第2530地区活動目標》
1. 会員風俗の維持と強化
 2. POLの推進への取り組みと支援
 3. TAKE ACTION - みんなで行動を起こしましょう
 4. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
 5. 公共イメージの向上
 6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
 7. 研修制度の充実
 8. ロータリー財団への理解と活用
 9. 米山記念奨学会への協力

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 平井義郎
ガバナー補佐 渡邊武
会長 吾妻一夫
幹事 村上裕司

八月は会員増強・新クラブ
結成推進月間

2018~2019年度 ◆ 例会日/木曜日12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 バリー・ラシン

事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604

イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ)

ガバナー公式訪問 クラブ協議会 8月28日(木)



【会長あいさつ】

今日はクラブ協議会ということで朝早い時間からご出席いただき誠にありがとうございます。また、平井ガバナーには先程来、私たちに対して色々なアドバイスを頂戴いたしました。渡邊ガバナー補佐につきましてもお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。只今より、各委員長さんに発表していただきますので良きアドバイスを宜しくお願ひして始めさせていただきます。今日は皆さん、宜しくお願ひします。

S・A・A(Sergeant-at-Arms) 安齋忠作 委員長

SAAの使命といたしましては会長、幹事、各委員長さんと連絡を取り合い、秩序正しく品位があり、なおかつ楽しい例会になるよう心を配りやっていきたいと思ひます。1番から7番の項目を推進して参りますが、6番目のBGMを流すことについては現在検討中です。宜しくお願ひいたします。

クラブ奉仕第一委員会 千葉政行 委員長

クラブ奉仕第一委員会は「職業分類・会員増強・選考」「ロータリー情報」の二つの小委員会で構成されております。クラブ活性化を図るために会員増強を行い、皆さんにロータリーを理解してもらうための活動をしていきたいと思ひております。今日は役が第一、第二、戦略計画とありますので頑張っ参ります。宜しくお願ひします。

職業分類・会員増強・選考小委員会 川又康彦 小委員長

60周年には目標の40名に届きませんでした。昨年度は新会員2名を迎え38名で祝うことができました。本年度も引き続き会員の皆様との情報共有を図り新会員の入会を目指してまいりますので、この方ならというひとがいらっしゃいましたら会長始め会員増強委員会のメンバーにお声かけをお願いいたします。今年度も宜しくお願ひいたします。

ロータリー情報小委員会 安齋忠作 小委員長

情報委員会としましては会員各位のロータリーに関する知識と理解をより一層深めることを目的とし、一年間担当していきたいと思ひます。具体的には4つの項目を挙げ活動して参ります。宜しくお願ひいたします。

クラブ奉仕第二委員会 千葉政行 クラブ奉仕第一委員会委員長

菅野委員長が欠席です。私の方から報告させていただきます。当委員会は「親睦活動」「プログラム・出席」「クラブ会報・広報・雑誌」の小委員会で構成されております。いかに例会が楽しく活性化できるような活動にできるかが役割だと思ひております。楽しく有意義な例会を中心に出席率を高め、退会を無くし活力あるクラブにしたいと思ひます。

親睦活動小委員会 渡辺達也 小委員長

ロータリークラブ会員同士の絆をさらに深めることができるように努力して参ります。委員会活動方針として4つほど掲げております。今年度、不慣れではございますが一年間頑張りたいと思ひますので宜しくお願ひいたします。

プログラム・出席小委員会 石川邦俊 小委員長

活動方針は会長の基本方針に基づいて企画して参ります。また、各委員会とも連携を図り委員会活動の発表の場を設けると共に移動例会、夜間例会等を取り入れ、魅力ある例会にしていきたいと思ひます。活動計画を4つほど挙げておりますが、奥様同士の親睦も図れるように親睦委員会と共に面白い夜間例会に取り組んで参ります。

クラブ会報・広報・雑誌小委員会 篠木勝司 小委員長

年次計画はここに列記いたしました。毎年だいたい同じような流れでやっております。去年から続いて今年、クラブ会報広報雑誌委員会は大きな波ができました。これは、60周年記念に飯坂の歴史を辿るシリーズを1冊の本にまとめ作りしました。12月までには町のいたる所に配布できると思ひます。

スマイリングボックス小委員会 二瓶 貢 小委員長



スマイリングボックスはロータリー特有の募金箱であり、「親睦から奉仕へ」のロータリーの本質を表すものです。本年度の目標額は120万円としておりますが、去年は50万円くらいオーバーしておりますので、今年も予定額を下回らないように努力して参ります。宜しくお願ひいたします。

職業奉仕委員会 斎藤孝裕 委員長

職業奉仕とは自分の職業を通して世の中に奉仕することです。この奉仕の心を皆様と共に磨いていきたいと思ひます。具体的には4つの項目を実施して参ります。

す。昨年度、セミナーに2回参加しまして今年も参加し、本質的なものを勉強しながら、委員と共に会員の皆様に“職業奉仕とはなんたるや”とお伝えしたいと思います。宜しく願いいたします。

社会奉仕委員会 佐藤喜市郎 委員

社会奉仕活動を行うためにより良い事業の立案や解決策の提案等を実践して参りたいと思っております。社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕、戦略計画の各委員会と連携をとり、4つの活動を考えております。その中のインターアクトについて、福島北高校と話し合っておりますが、毎年生徒の募集定員が減っておりますのでなかなか難しく、これも時間をかけながらやって参りたいと思います。これがゆくゆくは公共イメージ向上にもつながり、会員増強になればと思っております。ご指導お願いいたします。

地域貢献・環境保全小委員会 川又康彦 委員

白川小委員長が本日欠席ですので私の方からご報告いたします。地球規模で取り組まれている環境問題を踏まえ、地域に根ざした活動を通して地域社会に貢献することを目指して参ります。当委員会は2つの事業活動に取り組み一年間活動して参ります。宜しく願いいたします。

国際奉仕委員会 生田目正志 委員長

他国の人々との国際理解、親睦、平和を推進する活動を目的として、ロータリーの精神にのっとり、国際奉仕、国際交流を実践して参ります。五大奉仕の一つの部門である国際奉仕の活動により理解を深めることを目指して、4つの事業を実践して参ります。以上です。

青少年奉仕委員会 大内勝行 委員長

次世代の担い手となる地域青少年の健全な成長を心から願い、地域社会への理解、国際的な感覚を育む事業を行うために具体的には3つの活動を行って参ります。以上です。

ロータリー財団委員会 渡邊 宏 副委員長

国際的規模の人道的、教育的、文化交流のプログラムを通して、世界理解、親善、平和を達成できるように国際ロータリーの活動を支援して参ります。今年度の活動目標としまして6つを掲げ、活動の推進を図って参ります。

米山記念奨学会委員会 安齋忠作 委員長

皆さんもご存じの通り、日本においては最大の奨学団体で、この制度を会員の皆さんに理解していただけるよう努力して参りたいと思います。また、寄付について普通寄付はもちろんのこと、特別寄付一人一万円も達成して参りたいと思います。また、今年度はベトナムからの奨学生をお世話することになり、月一回例会に来ていただき会員と親睦を図れるような段取りをして参ります。以上です。

戦略計画委員会 千葉政行 委員長

国際ロータリーの戦略計画に基づき、3つの優先項目が今年度の目標になっており、これらを踏まえた地区の目標に基づき、クラブ活性化のために当委員会でも効果的に活動して参ります。皆さんのご協力宜しく願いいたします。



ガバナー講評

クラブ協議会で皆さんの計画をご説明いただきました。一般論としてお話しさせていただきます。SAAについて、クラブ骨格をなす部分についての在り方、雰囲気を作る大事な役職になっております。誇り高く運営していくということが運営の基軸になって参ります。クラブ奉仕第一委員会は、国際ロータリーではこの会員増強を本気になってやらないとどうなるか分からないという状況で、先進諸国において早い段階で会員増強を謳って欲しいということがあります。果たして今のままのクラブの在り方で良いのかどうか懸念されてきます。そういった状況をご理解いただいて増強にあたっていただきたいと思います。ロータリー情報委員会は新会員オリエンテーションを軸に動いております。これは1回ではなく複数回開催し早くロータリーに馴染んでいただくことが大切です。クラブ第二奉仕委員会の出席委員会に関しては、例会が楽しければ出席率が上がると思います。ここでプログラム委員会が重要な役割を占めてきます。前年踏襲だと飽きが来てしまいますので、今やっていることをさらに拡大発展するという前提で行ったほうが手取り早いのではないかと思います。その中で親睦活動委員会はロータリーの流れの中で親睦というものが一番大事になってきます。ですから、ここに力を入れて皆さんで和気藹々と楽しくやることが大事になります。特にお願いしたいのは家族の方の参加率を高めて欲しいと思います。会報広報雑誌委員会では、冊子について各県の県立図書館にも送ってみてはどうでしょうか。また、ロータリー文庫にも送ったら喜ばれると思います。クラブの歴史を積み上げている委員会だと思います。例会での写真などのデータの管理整理を含めて必要だと思います。スマイリングボックスもここに書いてある通りです。皆さんの気持ちの浄財を社会奉仕にどう使っていくかになると思います。年間表彰等も考えて少しでも多く集まるように考えていただきたいと思います。職業奉仕委員会ですが、職業奉仕の報告書をうまく使っていただきたいと思います。卓話の時にこの一文を読んでいただいて他の会員にお知らせし、説明を加えて他の会員に職業奉仕の概念というものを教えていただきたいと思います。そういった中で社会奉仕活動とは、やってみて皆さんが感動感激を得

られるようにしていくということが大事です。また、一部の会員ではなく会員全員で得られるようにしていくという風にしなければなりません。環境保全について、昨年一人1本植樹しましょうと言われていました。今のうちから色々計画を立てていただければと思います。国際奉仕ですが、ここにきっかけがありますのでここからさらに拡大できないかと思っております。国際交流フェスティバルの中で多くの外国人の方と出会えるチャンスがあるのなら、支援活動につながるように拡大して結びつけていただきたいと思います。青少年奉仕ですがインターアクトを作るということでぜひ作っていただきたいと思います。若い人たちを育てていくという私たちの役割はとても大事ですのでぜひ作っていただきたいと思います。ロータリー財団と米山ですが、どうしても数字が先に出てしまい分かりづらいと見られがちです。何をしたかということをご皆さんにフィードバックしていなかったのも一つの問題だったと思っております。財団の奨学生を育て、色々な形で奨学金によって今現在活躍している人がいることを皆さんに紹介して、こういう方々のために私たちはお金を積んできたことと理解していただくことが大事だろうと思っております。戦略計画委員会ですが、ロータリークラブはある程度軸に沿った形でやっていこうということで、3年先5年先のクラブのあるべき姿というものを皆さんで話し合いをしながら良い方向に進んでいけるように、そのためには「キー」となる直前会長、現会長、会長ノミニーとの摺り合わせが大事になります。また、会員の皆さんの考えを多く取り入れていくのが大事です。

ロータリー賞の挑戦はありたいことです。ロータリーは変遷の流れがひどく、各会員が勉強をしていかないと追いつかない状況になっております。こういったロータリー賞における命題は「その時のして欲しいこと」で出ておりますので、それに向かって皆さんでチャレンジしていくということをお願いしたいと思います。色々勉強をされて飯坂ロータリークラブさんがさらに50年100年残っていただくことを考えていただいて、より良いクラブ作りを考えていただきたいと思います。

[ガバナー補佐あいさつ]

今日はガバナー公式訪問ということで同伴させていただいております。先日の補佐訪問では大変お世話になりありがとうございました。補佐という立場で、今日はガバナーがいらしておりますので皆さんと一緒に勉強させていただいたつもりです。宜しくお願いいたします。

通算

第8回 [2929] 例会報告

平成30年(2018)8月30日(木)

出席委員会報告

会員総数	37名
出席会員	28名
欠席会員	9名
出席率	75.68%

言行は此れに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

- ◆開会点鐘 吾妻一夫 会長
- ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 村田安啓 会員
- ◆四つのテストの唱和 斎藤孝裕 職業奉仕委員長

◆お客様紹介

☎国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井義郎 様 福島中央RC 【職業分類：コンピュータ販売】
 ☎県北第二分区分ガバナー補佐 渡邊 武 様 梁川RC 【職業分類：建設工事業】

◆会長あいさつ



今日は平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐をお迎えし、数々のアドバイスをいただきましてありがとうございます。また、クラブ協議会につきましても懇切丁寧なアドバイスをいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。私は8月26日、「愛は地球を救う」24時間番組と読売旅行のタイアップにより四季の里で大イベントを開催しました。出店業者15店舗を取りまとめ、ラーメン、そば等大変盛り上がりしました。総勢3000名のお客様がおいでになり、実行するにあたり保健所の許可、消防署の立ち入りまで全て申請を取りまとめました。次の目標は、運動公園のイチョウ並木のライトアップされた所のイベントを開催し、飯坂温泉の誘客につなげたいと考えております。もちろん宿泊は吉川屋さん、二次会は夕花里さん、お姉さんは遊の里さんでと考えております。これで私の時間を終わらせていただきます。

◆幹事報告 村上裕司 幹事

A. メーキャップ報告 8/25 地区会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナー 村上裕司、安斎忠作 各会員

◆地区会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナーの報告 安斎忠作 委員長

8月25日に会員増強・拡大・ロータリー情報委員会セミナーが開催されました。地区目標として純増1名、女性会員1名、退会者無しを目標に願っていたとのことでした。また、会費軽減の方法として、衛星クラブの設立があります。8名で設立でき、20名で独立できとのことでした。また、人頭分担当金を支払えば、運営を各クラブにまかせ、最低月2会の例会の開参で運営ができるとのことでした。会員全員が負担にならない運営を図り、会員の増大につなげていただきたいと思います。

◆スマイリングBOX 二瓶 貢 委員長 【合計3-88】《年月計比較+3-30》

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井義郎 様より 10,000円
 第2530地区県北第二分より 5,000円

- | | | | |
|-------|----|---|--|
| 吾妻一夫 | 会員 | J | 平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐をお迎えして |
| 村上裕司 | 会員 | H | 平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐をお迎えして |
| 佐藤喜市郎 | 会員 | H | 平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐両氏をお迎えして |
| 斎藤孝裕 | 会員 | H | 平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐、飯坂へおいでいただきましてありがとうございます。 |
| 定宏 | 会員 | H | 本日欠席おわび 妻に誕生日のお花をいただきありがとうございます。 |
| 中島真也 | 会員 | H | 平井義郎ガバナー、渡邊武ガバナー補佐をお迎えして |
| 佐藤隆章 | 会員 | H | 平井ガバナー公式訪問に感謝して |
| 島貢 | 会員 | H | 平井ガバナーをお迎えして |
| 二瓶千葉 | 政行 | S | ・平井ガバナー、渡邊ガバナー補佐をお迎えして |
| 渡邊切 | 会員 | S | 平井ガバナーをお迎えして |
| 堀切宏 | 会員 | S | 平井ガバナーと渡邊ガバナー補佐をお迎えして |
| 石川邦俊 | 会員 | S | 平井ガバナーをお迎えして |
| 白川敏明 | 会員 | S | キレイな花ありがとうございます。 |
| 伊堂里香 | 会員 | T | 夜間例会欠席おわび |

・ジュース協賛させていただきます。

- | | | | |
|------|----|---|--------------|
| 篠木勝司 | 会員 | S | ガバナーをお迎えして！！ |
| 服部裕一 | 会員 | S | ガバナー公式訪問を祝して |
| 紺野容樹 | 会員 | S | 平井ガバナーをお迎えして |
| 村田安啓 | 会員 | T | 前回欠席おわび |



日本のロータリー百年記念に作られた地区の鐘



2018-19 年度ガバナーを仰せつかりました福島中央ロータリークラブ所属の平井義郎です。どうぞよろしくお願ひいたします。最初に日本のロータリー100周年についてお知らせします。2020年に日本のロータリー100周年記念事業が行われます。本日点鐘しましたこの鐘は、その為に100周年を記念して作られた地区用の鐘です。これを公式訪問、地区の委員会セミナーなどに持参して点鐘しなければならなくなりました。今年度ばかりで無く来年度、芳賀裕ガバナーの年度まで引き継ぐことにしています。さて、西日本豪雨災害に際し甚大な被害を受けられた各地区の皆様にご心からお見舞い申し上げます。ここ数年の豪雨による災害は段々と規模が大きくなり、その被害範囲も拡大しているように思えます。この災害に対し、地区の復興基金に合わせ、ロータリアン各位から義援金を募りお見舞い金として送金することにいたしました。会員一人あたり2,000円以上のご協力をお願いいたします。ガバナーは、個々のクラブ例会や

複数クラブの合同例会といった機会を利用して、地区内の全クラブを訪問します。公式訪問の主な目的は、**会員の意欲を高め、支援を提供すること**なのです。

さて、「ロータリーとは何ですか?」と皆さんにお聞きします。その答え、「**私達は行動をもって答える**」。いま、ロータリーに必要な事は行動です。地域社会、青少年、世界の困った人たちのために行動を起こしましょう。バリー・ラシン RI 会長は1年前、国際ロータリー理事会で、ロータリーとその未来に向けた私たちの大志を表した新しいビジョン声明を採択しました。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」というものです。フランス人作家のアントワーズ・ド・サンテグジュペリは、「船を造りたいなら木を集めたり、木を切ったり、任務を割り振るのではなく、果てしなく続く広大な海への切望の心を培うことから始めなさい」と言いました。ポール・ハリスは、1915年2月号のロータリアン誌で「今から100年後にロータリーはどうなっているでしょうか?生きている人には想像もつきません。現在のロータリーにとって不可能な事はありません。ロータリーは生き続けると信じています。生きていながら発展するでしょう。いつか現在の会員資格によって課せられる責務を遂行できなくなる時が来ます。(私たちは冷酷な掟に従い、年老いていくに違いありません)その時私たちはどうするのでしょうか?退会しますか。多分退会しないでしょう。もし退会しなければ、大いなるロータリーの夜明けが多分その時に来るでしょう」と言っています。バリー・ラシン RI 会長はさらに、影響を及ぼしたい、世界を変えたい、自分一人の存在よりも大きな何かの一部になりたいという望み、つまり、より良い世界とその世界を築くための私たちの役割のビジョンこそロータリー活動を支えるものです。これこそ私たちがロータリーの会員になった理由であり、奉仕活動を行う理由であり、今年度のテーマに「インスピレーションになるう」を選んだ理由です。

今年度私が皆様にお願ひしたいのは、**環境問題**の影響に取り組むことで、持続可能な奉仕活動を行い、インスピレーションになって欲しいということです。環境は6つの重点分野全てにおいて深く関わっており、その関係は気候変動の影響が明らかになるにつれ高まる一方です。環境問題を6つの重点分野と別物として捉える見方からは、もう抜け出すべきです。きれいな空気、水、大地は、健全な地域社会にとって欠かせません。そして、私たちが求める、より良い、より健全な未来にとっても欠かせないものです。

方針について、重要なロータリーの問題として最初にポリオ撲滅が上げられます。次に会員増強、特に若い会員と女性会員の増強が叫ばれています。ついで公共イメージの向上があります。これらの問題について詳しく考えてみましょう。ポリオ撲滅について、ロータリー全体としての活動、それがポリオ撲滅です。組織が一つの目標を掲げ全員がその目標に向かっていくことによって組織に結束力がつきます。この結束力こそが次のステップに繋がる元となると思います。このことからクラブに結束力ができる共通のプロジェクトとして、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などそれぞれの活動を行うことが大事になります。それらの活動を持続させ、将来までクラブが存続するようにするために、**会員増強**が必要となります。次に**会員増強**について、これらから脱却し**新しい風を吹かせるために**、若い会員の増強が今必要とされています。国際ロータリーは、ロータリーの将来に危機感を持っています。今、会員それぞれがその事に気がついて会員増強を行い、世界が必要としているロータリーを存続させなければならないと言っているのです。会員増強を行う手法としてロータリーの認知度を上げることが必要になります。身近な地域への奉仕活動を積極的に行い、マスコミなどの力を借りながらロータリーの認知度、公共イメージを高めることによって会員増強もうまく出来ることになるのです。

8月は会員増強月間ですが、過日の委員会総会では、会員増強について会員増強の動向と見直し、その必要性を大きく取り上げています。ロータリーは国際的に認められ必要とされる団体となっており、多くの国々の人々からその支援が望まれています。一方、ロータリーは高齢化と少子化による会員減少が懸念されています。世界で必要とされているロータリーが今後20年50年と存続していくために会員増強、それも若い世代の会員、そして女性会員の増強が急務となっています。私たちは、この素晴らしいロータリーを次世代以降も活躍出来る組織として残していく責務があります。

地域社会に認知され、ロータリーが理解されるよう奉仕活動を実践して下さい。身体を使い、汗を流し地域社会のために奉仕活動を行うことによって社会に認知され、公共イメージが向上し会員増強に結びつくこととなります。また、それらの活動によって行った達成感と充実感が次の活動の原動力となることでしょう。このように RI が掲げる目標を実践していくことが将来にロータリーを残していく手段です。クラブの目標を持つことが、結束力をつける源で有ることを話しました。その具体的方法が RI 会長賞です。今年度は「ロータリー賞」としており、賞の詳細については PETS で説明させていただいています。2017-18年度の会長賞の受賞クラブは別紙のとおり66中4クラブでした。RIでは会員増強について、ローターアクトクラブを最重要の位置づけとしています。対応面から見ますとローターアクトはその会員のまま、ロータリーに入会できる二重在籍を認めました。さらに、ロータリーの地区組織のローターアクト委員会に同数のローターアクト代表を一員とするよう推奨しています。これらは今後10年、20年先の会員として見込める最大のターゲットとして位置づけていると思われれます。インターアクトは将来のローターアクトに、そしていずれロータリアンにという期待が込められているのです。考えてみれば、クラブに若い人を誘ってくるのは若者です。ですから、若者に早く機会を与え、ロータリーについて足りない部分は年長者がフォローし教育するといった図式ができあがってくるものと思います。年長の会員にロータリーについての指導をしていただき、早くロータリーを知っていただくよう機会を設けていただきたいと思います。役割を分担し、年長の会員の出番を作り、楽しく、明るく活発なクラブづくりを進めていただくようお願いいたします。2016年に規定審議会の改正によって、クラブは運営の方法にかなり柔軟性を持ったこととなります。クラブ細則や運営を見直し、若い人、女性会員が入会しやすい環境を作り、クラブが未来に生き残る為の工夫を今行う必要があるのです。